

西教寺進徳日曜学校だより

西教寺蔵本通支坊 2003.3.16 呉市中央7-7-13

21-2798 E-mail:chinei63@enjoy.ne.jp

今日したこと

保護者のみなさんへ

花まつりについて

受付・集合場所(うけつけ・しゅうごうばしょ)は西方寺(さいほうじ)です。おまちがえなく。

パレードは、「花まつり行進曲」にあわせて音を鳴らしながら歩きます。笛、カスタネット、タンバリン、なべのフタ、音の出るものなら何でもご持参ください。パレード前に簡単な練習がありますので、時間前にきてくださいね。

1度お念珠をつくった方は、それを持ってきてください。きれいなヒモの結び方とか、パワーアップできます。

予定していた折り紙は、むずかしいので中止になりました。

その他、詳しくは、チラシをご覧ください。

環境標語 日日カレンダー その3

私が生きるということは、他の生命をうばい、他の人生を踏みつけ、さまたげずにはいられないという矛盾をはらんでいます。

「お精進のころ」とは、そのことに痛みを感じる心だと思います。

肉や魚を食べるのに、いちいちそんなこと本気で考えているの？と、お思いの方もいらっしゃるかもしれませんが、安芸門徒は本気も本気、大まじめなのです。逆に、私はがそう思えないのはなぜなのでしょう？

仏さまの教えに生きる(真実に生きようとする)人たちは、このことをあらためて心に刻む1日です。

たとえ一食でも一皿でもお精進をして、親も子も、ともに深い心をもった人間になりたいものです。どうぞ「お精進のころをいただく」1日に。

こころの扉を拓く～心理臨床覚書～(真田忠美著)

自分の目・他人の目- 汝を愛する友を疑うことなかれ-

8. 迷 惑

「迷惑をかけない」ということは、「対人関係をもたない」ということである。

「対人関係をもつ」ということは、「他人と関わりをもつ」ということである。それは、「他者の個人的な世界に介入する」ということを意味する。

人はみな各々、個別的な独自の世界をもっている。そこへ他者が介入するということは、その人の独自の世界が乱される、妨害される、ということである。他者のために自分の自由を抑制して場を空けなければならない。

そのとき大抵は、相互に抑制しあう。一方が抑制しないと、他方は多大な抑制を余儀なくされる。相手が全面的に抑制してくれても、全く思いどおりに自由に振る舞うわけにはいかない。個性や感性の違いから不自由を強いられることはいくらかもある。

双方が抑制しないと、まずは喧嘩になる。お互いに徹底的に妨害される、という結果になる。

どうあっても、他者と関われば自分の世界は乱されるのである。

この次は、**4月5日(土)14時～**です。

その次は4月20日(日)9時～です

お話 「さあみんなで花まつりをお祝いしようよ」(仏教子ども新聞)
クロスワード
ゲーム
できるかな「頭肩ひざ」「なでポン」

